

西小は おおきな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 9 月 21 日 (金) No.27

発行人

今度はほぼが痛いんですけど(T_T)。
どうしたものやら・・・の川崎先生。

◇運動会の練習を見ていて思うこと◇

・応援、掛け声、とにかく声がスゴイ。6年生や5年生のリーダーの号令で、それぞれの色組がみんなすごい声を出している。どんなことであっても、一つのことには一生懸命になれるって見ていて気持ちいい。

・しかし子どもは元気。例えば2校時に色別の練習が終わる。その後の長休みにも縄跳びの練習したり、玉入れの練習したり、動き続けている。そして3校時はまたソーランの練習だ。「努力できることが才能である」。西小の子どもたちには、間違いなく才能がある。

・ソーランがカッコいい。もともとは今から30年以上前に北海道のある中学校が、荒れた学校を立て直すために始めたもの。それが今ではさまざまに形を変えながら、全国の小学校の運動会、また中学校の学園祭で踊られるようになった。民謡のソーラン節がその元なので、船の上で漁師が網を引く動作が入っているのが特徴だ。“ヤーレン、ソーラン、ソーラン、ソーラン”という掛け声も、網を引くときの掛け声だ。いずれにせよ、力強い踊りは若さの象徴とも言える。(いいなあ・・・ほそっ(-_-))

・朝の登校時間前、体育委員がラインを引き準備をしてくれている。早く来た子が準備を始めていると、それを見て急いでカバンを置いて駆けつける子がいる。この素直な行動こそが豊かな心の現れだ。うんうん(=^・^=)

★さて明日はいよいよ運動会・・・だけどだけど天気は☔マークだし・・・★

・精一杯頑張ればいいよ。順位は何位でも関係なし。勝てばうれしいし負ければ悔しいけど、勝ち負けや順位より大切なことがある。勝って拍手、負けて拍手、一生懸命な自分に拍手、そしてみんなに拍手。明日はそんな一日でありたいね\(^o^)/。

◆3年生の稲刈り無事終了◆

・天気が心配されたが、稲刈り当日は見事な青空が広がり、絶好の稲刈り日和。稲刈り鎌など使ったことないだろう子どもたち。最初のうちはおっかなびっくりだったが、少し時間がたつと、さすが西地区の子。鎌の扱いも瞬く間に上手になった。途中からは稲刈り機の運転も経験し、刈った稲をウシに干すまで約1時間。これで一人前になったね。来年からは家の手伝いでも立派に戦力になれるよ(^)v

・その後はトノサマガエルを追いかけ、カマキリを捕まえ、大はしゃぎ。野山の生き物に全く抵抗ない。やっぱり西地区の子だなあ。

・保護者の皆様にもご協力いただき感謝です<_ _>。裏方に徹してくださりありがとうございます。やっぱり保護者の皆様がいらっしゃると心強い。たくさんの写メも、いい瞬間が撮れたことでしょうね。

・田からの帰り道、猫じゃらしで川崎をくすぐる1年生。うひょーい！。お母さん「ファミリーに載っちゃうからやめて！！」。ふっ、ふっ、ふっ、こんないいネタ、載せるに決まってるじゃないですか。

・それはそうと、最近猫じゃらしを持って追いかけてくる子どもが多い。うひょーい！！